



やさしさと思いやりで笑顔がいっぱい

文責 校長 中島 由広

歓迎集会・歓迎遠足を行いました

前の週の天気予報では、雨の予想が出ていた4月19日。「昨年同様校内遠足か!？」と心配しましたが、当日はほどよい曇り空で、歓迎遠足日和になりました。



遠足の前に、歓迎集会が運動場で行われました。集会委員会による「山里小クイズ」は、山里小の児童数や学級数など、なかなかの難問でしたが、全員で盛り

上がりました。また、2～6年生から1年生に対して、「校歌の歌詞を大きく書いたもの」や「アサガオの種」などのプレゼントが渡されたときの、満面の笑顔の1年生が印象的でした。



歓迎集会が終わり、目的地の松山陸上競技場に向けて、5年生から学年ごとに出発しました。目的地到着まで25分ほどですが、交通量の多いところを歩いていくので、安全には十分配慮しながらの遠足となりました。

到着後は、学年や学級ごとにドッジボールやケイドロなどをして楽しみました。1年生は、6年生のペアのお兄さん、お姉さんといっしょに楽しい時間を過ごしました。

陸上競技場には、シロツメクサがたくさん生えています。四つ葉のクローバーを探したり、



シロツメクサで花飾りを作ったりする子どももいて、日常とは違った経験をすることができた子どもも多かったようです。また、シロツメクサの花を摘んで私に持ってきてくれる子どももあり、もらったシロツメクサがビニール袋いっぱいになりました。次から次にシロツメクサをもってきてくれる子どもたちを前にして、「花束をもらう芸能人」になった気分を味わった瞬間でした。

あっという間の遠足でしたが、それぞれの子どもたちにとって思い出に残った遠足になったのではないかと思います。

当日のお弁当を作っていただきありがとうございました。

学力調査が実施されました

4月18日は、3年生から6年生に対して学力調査が実施されました。

6年生は「全国学力学習状況調査」の国語、算数、「長崎県学力調査」の理科、5年生は「長崎県学力調査」の国語、算数、4年生と3年生は「長崎市学力調査」の国語、算数にそれぞれ挑みました。

この調査を通して、学校や学級として、どの教科の、どの分野が得意または不得意なのかを把握したり、昨年度の指導の成果が出ているのかなどを検証するための材料として活用したりします。また子ども自身にとっても、自分の強みや弱みを客観的に知ることができるという点において、有意義な調査であると考えています。

調査を終えた子どもたちからは、「問題が多くて時間が足りなくなり、難しかった。」「テストに集中しすぎてきつかった。」などの声が聞かれ、いささか疲れ気味の様子でした。

今後は、調査の結果を職員で共有し、これからの指導に生かしていきたいと思っています。